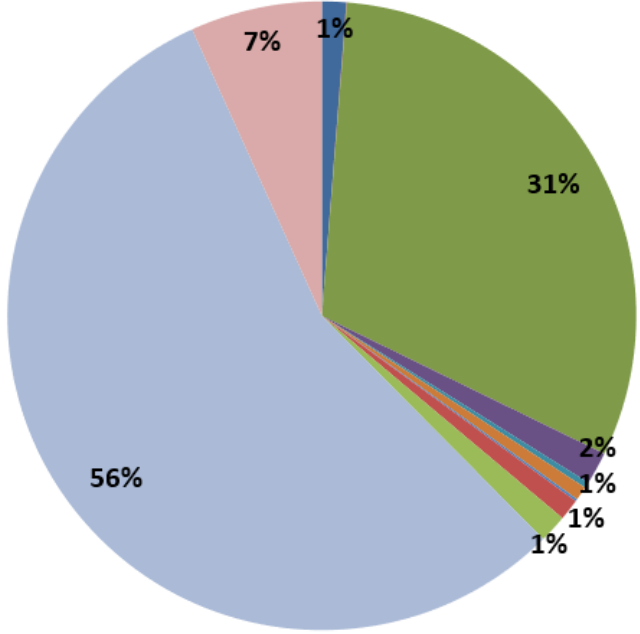


株式会社都田建設

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none">● 業種：建設業● 事業概要：木造注文住宅の建設事業、リノベーション事業、エクステリア事業、薪ストーブ販売、インテリアショップ、カフェ、宿泊施設等● 事業規模：従業員数70人
2.削減目標案	<p><Scope 1・2 の削減目標と削減に向けた取り組み> 目標：1.5度目標として、2030年に2018年比で50.8%削減を目指す。 取り組み：Scope2については、既に再エネ進捗率98%となっている。ただし現在はグリーン電力証書にて再エネ化しているため、実際にバイオマス発電等を導入し地域内消費することを検討する。 Scope1については、営業車の電気自動車化等を検討する。</p> <p><Scope 3 の削減目標と削減に向けた取り組み> 目標：Scope3のカテゴリ1とカテゴリ11合計で、2030年までに30%削減を目指す。 取り組み：Scope3カテゴリ1においては、環境に良い資材を使用する。 カテゴリ11については、薪ストーブの販売や、断熱（新聞紙リサイクル）等に取り組む。</p>

株式会社都田建設

項目	内容																																							
3.基準年のGHGインベントリ[数値は任意]	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 : 95.6 [tCO2] 																																						
	<p>スコープ/カテゴリ別排出割合</p>  <table border="1"> <caption>スコープ/カテゴリ別排出割合</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>スコープ1</td><td>1%</td></tr> <tr><td>スコープ2</td><td>1%</td></tr> <tr><td>スコープ3</td><td>1%</td></tr> <tr><td>カテゴリ1</td><td>31%</td></tr> <tr><td>カテゴリ2</td><td>1%</td></tr> <tr><td>カテゴリ3</td><td>1%</td></tr> <tr><td>カテゴリ4</td><td>1%</td></tr> <tr><td>カテゴリ5</td><td>1%</td></tr> <tr><td>カテゴリ6</td><td>1%</td></tr> <tr><td>カテゴリ7</td><td>1%</td></tr> <tr><td>カテゴリ8</td><td>1%</td></tr> <tr><td>カテゴリ9</td><td>1%</td></tr> <tr><td>カテゴリ10</td><td>1%</td></tr> <tr><td>カテゴリ11</td><td>56%</td></tr> <tr><td>カテゴリ12</td><td>7%</td></tr> <tr><td>カテゴリ13</td><td>2%</td></tr> <tr><td>カテゴリ14</td><td>1%</td></tr> <tr><td>カテゴリ15</td><td>1%</td></tr> </tbody> </table>	項目	割合	スコープ1	1%	スコープ2	1%	スコープ3	1%	カテゴリ1	31%	カテゴリ2	1%	カテゴリ3	1%	カテゴリ4	1%	カテゴリ5	1%	カテゴリ6	1%	カテゴリ7	1%	カテゴリ8	1%	カテゴリ9	1%	カテゴリ10	1%	カテゴリ11	56%	カテゴリ12	7%	カテゴリ13	2%	カテゴリ14	1%	カテゴリ15	1%	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 : 2.1 [tCO2] ※再エネ電力反映後
	項目	割合																																						
スコープ1	1%																																							
スコープ2	1%																																							
スコープ3	1%																																							
カテゴリ1	31%																																							
カテゴリ2	1%																																							
カテゴリ3	1%																																							
カテゴリ4	1%																																							
カテゴリ5	1%																																							
カテゴリ6	1%																																							
カテゴリ7	1%																																							
カテゴリ8	1%																																							
カテゴリ9	1%																																							
カテゴリ10	1%																																							
カテゴリ11	56%																																							
カテゴリ12	7%																																							
カテゴリ13	2%																																							
カテゴリ14	1%																																							
カテゴリ15	1%																																							
	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3 : 7,557.4 [tCO2] 目標の対象セクター カテゴリ1 : 2,369.9 カテゴリ11 : 4,260.9 																																							

株式会社都田建設

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none">● 当社は工務店であるため、従業員においては屋外での作業も多い。気候変動による気温上昇により、屋外で作業する現場従業員の熱中症リスクが高まる。その結果、熱中症を発症した従業員の手当費用、代替りの要員の手配費用が発生する。また、施工計画に遅延が生じ、仕入先など他の関係者との調整のために余分な工数が発生する。● 環境意識の高い顧客に対し、より価値の高い住宅を提供することで事業機会となる。具体的には住宅に使われる断熱材をガラス繊維を原材料としたものから、セルローズファイバーを原材料としたものに変更済み。
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none">● 自社の中で気候変動対策として1.5℃目標水準の長期削減目標を掲げている。今後は削減目標がSBTと合致していることを表すためSBTの認定を受けることを目指している。● SBT取得により、国内外に気候変動に対する姿勢を示し発信していくことを目指している。また持続可能な社会・事業のための行動を実施していく。

株式会社都田建設

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● 既に長期削減目標を持っていたが、今回の支援事業をきっかけに、新しいSBT水準（1.5℃目標）に合わせて再度目標を見直すことができた。● 本取り組みには、代表自ら参加しているため意思決定は早かった。今後は社内への浸透のため、社員全員参加の勉強会等で本取り組みについて共有していく。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● Scope 1 の削減において、ガス（LPG）の使用による排出量の削減が困難である。代替燃料や代替技術等について情報収集を行う。